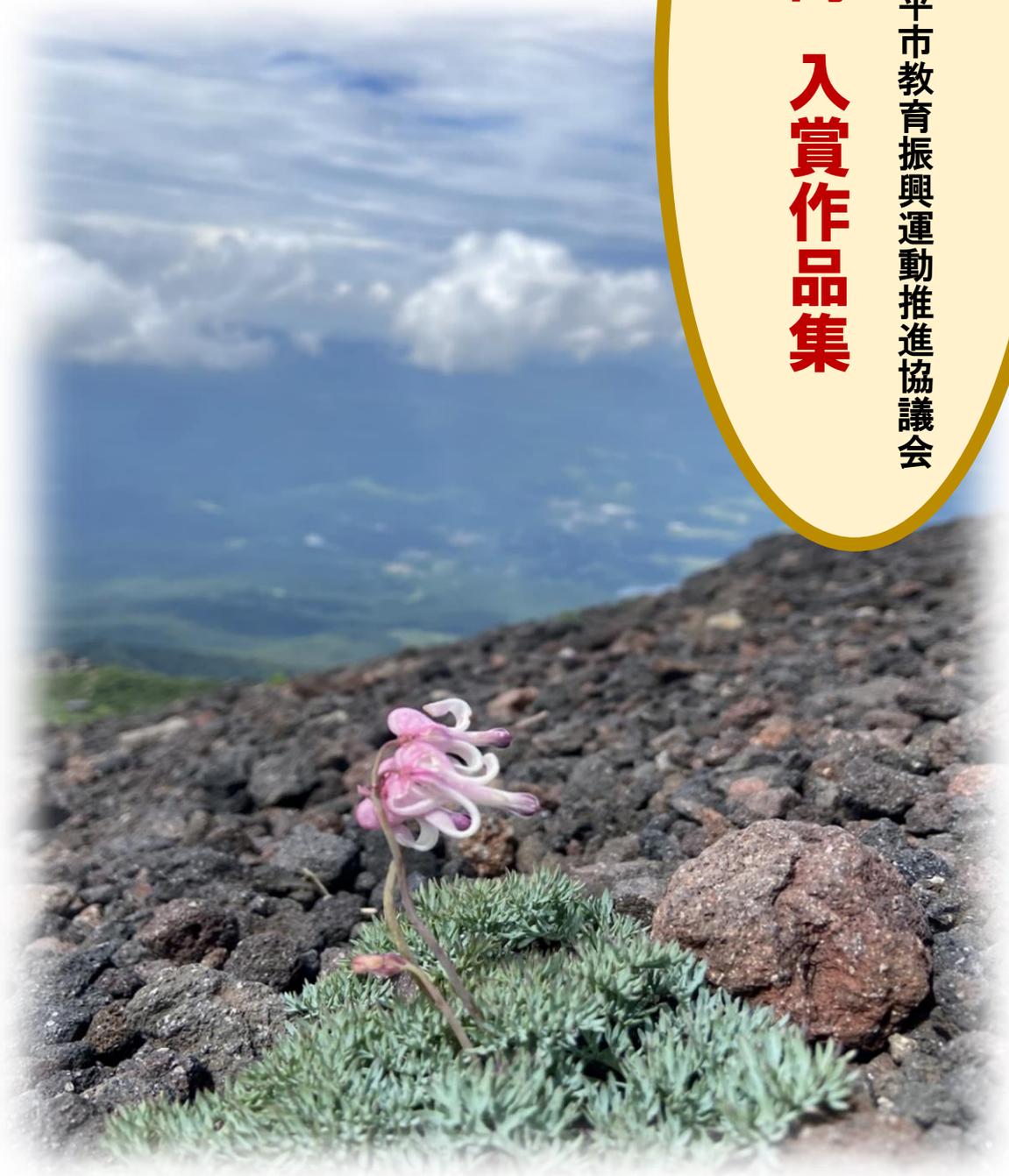




令和6年度 八幡平市教育振興運動推進協議会

三行詩 入賞作品集



三行詩の取り組みは、子どもたちの素敵な姿、親子の日常の会話、心がほっこりする出来事を思ったまま感じたままに三行程度の短文に書き表す営みです。たったそれだけの行為ですが、そのことによって、今まで何気なく見ていた光景がとても素敵なものを感じられます。

子どもの目、親の目、祖父母の目、地域の目など、いろいろな視線から毎日の生活を見つめ、気づいたことを親子で話し合ったり、地域の中で話すきっかけに
なったり、市全体が素敵な話題で盛り上がることを期待した
取り組みです。



会長あいさつ

伊藤 喜代美

八幡平市に雪の便りが届く頃、市庁舎の多目的ホールでは三行詩の二次審査会が行われます。私にとっては今回が四回目の審査会です。そして、教育振興運動の取組としての三行詩の事業は今回が最後となりました。

文章のまとめ方として起承転結という言葉がありますが、私にとっては四年前の一回目の審査会を「起」とすれば、今年はちょうど「結」にあたります。この四回の審査を通して、教育振興運動に対する私なりの考えも示させていただきました。そして三行詩に取り組んでいたさまざまな各実践区の皆様にとりましても、コロナ禍という未曾有の事態を経験し、昨年・今年度での教育振興運動の再始動を通してその意義を再確認でき、八幡平市の教育振興運動を締めくくるにふさわしい年度になったのではないかと思います。三行詩の取組は教育振興運動の事業としては今年度で終了しますが、別な枠組みで継続することが示されています。

この四年間、微力ではありましたが、三行詩の取組に教育振興運動としての願いをお話し続けてきました。それは、教育振興運動は五者が取り組む運動ですが、その最も大きな分母である地域（市民）が三行詩の取組を大いに盛り上げてほしいということです。そして、今年

度は市民の部が100点を超えました。そして、コミセンを会場とした巡回展の成果によると思われませんが、コミセンを通じた応募も増える傾向にあります。今後もいろいろな形で教育振興運動の精神が根付いていってほしいと思います。

さて、今年度の作品ですが、コロナ禍のイメージが払拭され、明るく前向きな作品が多かったように思います。詩の舞台も閉じこもった空間から広い世界に目が向けられてきたように思います。

その中で、今年度の協議会長賞は、田頭実践区の工藤宇太さんの作品となりました。実は同じような経験が我が家でもあったのです。息子が低学年のころ、戦国武将のフィギュアを並べて遊んでいました。たまたま寅年生まれの子がそのうちの加藤清正の槍を踏んづけてしまいました。妻は痛がつて息子を叱りましたが、息子は「これが本当の虎退治だ」と大喜びでした。さて、宇太さんのお家ではどんなドラマがあったのでしょうか。短い詩ですが、いろいろな情景が思い浮かび、この作品を選ばせていただきました。

審査会の中でも、短い文章で思いを表すのは難しいという感想がありました。そこは、経験豊富な大人の出版ではないかと思えます。来年度からどのような形の取組になるかわかりませんが、たくさん市民の皆さんから参加をいただき、子どもたちが多くのことを学ぶことができるような三行詩の取組になればと願っています。

令和6年度「三行詩」入賞者

一 協議会長賞

田頭実践区(田頭小学校) 二年 工藤 宇太

小学校高学年部門

大更実践区(大更小学校) 五年 佐々木 華

田頭実践区(田頭小学校) 六年 工藤 浩斗

寄木実践区(寄木小学校) 五年 石羽根 ひな

二 金賞 (各部門 一点)

大更実践区(大更小学校) 一年 飯野 颯真

中学校部門

西根中学校 二年 武田 宙樹

平館実践区(平館小学校) 六年 伊藤 涉叶

西根中学校 二年 田代 岳

西根第一中学校 二年 本堂 勇汰

西根第一中学校 一年 深野 莉歩音

平館高等学校 一年 田村 玲

高等学校部門

平笠地区 高橋 怜

平館高等高校 三年 大和 悠莉

三 銀賞 (各部門 三点)

小学校低学年部門

大更実践区(大更小学校) 三年 松村 結翔

平笠実践区(平笠小学校) 三年 吉田 璃豊

安代実践区(安代小学校) 二年 阿部 小鉄

市民部門

平笠実践区 高橋 悠仁

松野実践区 遠藤 竹幸

寄木実践区 母

四 銅賞（各部門五点以内）

小学校低学年部門

大更実践区(大更小学校) 二年 八幡 芽依
 大更実践区(大更小学校) 三年 高橋 毅
 大更実践区(大更小学校) 三年 三浦 隼
 田頭実践区(田頭小学校) 一年 男子
 安代実践区(安代小学校) 一年 関 虹心

小学校高学年部門

大更実践区(大更小学校) 四年 佐々木 仁心
 大更実践区(大更小学校) 五年 松本 莉穂
 平館実践区(平館小学校) 五年 下館 瑠毅
 寄木実践区(寄木小学校) 四年 吉田 昂之介
 柏台実践区(柏台小学校) 六年 高橋 柑奈

中学校部門

西根中学校 二年 高橋 花埜
 西根中学校 三年 岩崎 紅霸
 西根中学校 三年 工藤 寛睦

西根第一中学校 二年 長南 美空
 松尾中学校 三年 齊藤 優芽

高校部門

平館高等学校 一年 大卷 昊也
 平館高等学校 一年 加藤 雄大
 平館高等学校 一年 滝川 和絆
 平館高等学校 三年 遠藤 乎菜綺
 平館高等学校 三年 工藤 聖来

市民部門

大更実践区 渡辺 圭悟
 田頭実践区 工藤 舞
 田頭実践区 母
 柏台実践区 小林 加奈子
 安代実践区 田鎖 英子

入賞作品紹介



協議会長賞

田頭実践区（田頭小学校）

二年 工藤 宇太

きょうも だれかが ふんづけた

ぼくの おもちやで

けがする おとな



金賞

大更実践区（大更小学校）

一年 飯野 颯真

さいた さいた あさがおさいた

まいあさ げんきに いっぱいさいた

それみて みんなのえがおもさいた



平舘実践区(平舘小学校)

六年 伊藤 涉叶

お父さんがとった 動画

必ず はいっている 言葉

「頑張れ！」の一言

がんばれ！



西根第一中学校

二年 本堂 勇汰

子は親を見て 成長して

親は子を見て 学んで

親子それぞれ 新しい発見があるものだ



平館高等学校

一年 田村 玲

夢を失くして 前が見えなくなっても

暗闇の先に 見える光

いつも見てきた 親の背中がそこにある



平笠実践区

高橋 怜

褒めたいんだよ 本当は

「勝つ」 ための 「喝」

いずれ 分かってくれるかな



銀賞

大更実践区(大更小学校)

三年 松村 結翔

ぼくとぼば いっしょに あそぶと

ふたりとも かおが しわしわ

わらいが たえない しょうこだね



安代実践区(安代小学校)

二年 阿部 小鉄

まいにち ねる前に おかあさんと

きょうの うれしかったことを

3つ お話する おやくそく

きょうも いいゆめ みれるかな



平笠実践区(平笠小学校)

三年 吉田 璃豊

一さいになった 弟の声は 世界一かわいい

ぼくも 早くその かわいい声で

「お兄ちゃん」と よばれたいな



大更実践区(大更小学校)

五年 佐々木 華

段々の 水路で

岩手山からの水が だんだん あたたまるよ

あつたまつた 水のおかげで

田んぼの稲が だんだん 生長するよ

岩手山の 水で育った お米を食べた私は
どんだん 成長してきたよ



田頭実践区(田頭小学校)

六年 工藤 浩斗

なぜだろう

どんだん くずれる

夏休みの 計画

寄木実践区(寄木小学校)

五年 石羽根 ひな

朝の 通学路

車でビュンは 楽ちんだけど

お母さんと歩く ゆっくりな時間も楽しいな



西根中学校

二年 武田 宙樹

教室の中から 外の景色を見る

キレイな岩手山 ユラグ校庭の木

教室の中にいるけど

自然の中にいるみたいだ

西根中学校

二年 田代 岳



西根第一中学校

一年 深野 莉歩音

明日 何が起こるか わからない

期待と不安で 心がいっぱいになる

だから私は 今日を全力で楽しむ



「ありがとう」

その一言が

僕の心を 空色にする



平館高等学校

三年 大和 悠莉

通学路

いつも立っている 交通指導員さん
「今日は何を話そうかな」とペダルを漕ぐ



平館高等学校

三年 菅原 煌汰

言った言葉

消せないなら

大切に



平館高等学校

三年 井戸 竜汰

ゲーム やめるべし

携帯を 触らないべし

家族との 会話増えるべし



空を見て

平笠実践区 高橋 悠仁

ワニだ イルカだ ペンギンだ

息子が見ると 水族館



寄木実践区 母

悩みごと

松野実践区 遠藤 竹幸

一人で悩まず うちあけよう

家族で話せば 知恵も出る



イライラが 多くなった娘が

今日は よく笑っている

なんで そんなに 笑っているの？

「ママが笑っているから。」



銅賞

大更実践区(大更小学校)

二年 八幡 芽依

「大すぎだよ」 いつも言ってくれる ともだち

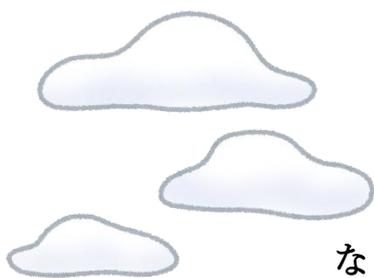
言われたら とっても うれしい

だから うれしい気持ち

わたしも きちんと つたえるよ

「ありがとう」 「大すぎ」 「うれしいな」

きつと みんな いいきもち



大更実践区(大更小学校)

三年 高橋 毅

ぼくは おもくなった

お母さんは だっこしづらくなった

それはそうか もう3年生だもん

大更実践区(大更小学校)

三年 三浦 隼



大きなくもは どこからくるの

なつのくもは アイスみたい

おもしろいから 空をみるのが すきだな

田頭実践区(田頭小学校)

一年 男子

いただきます ごちそうさま

かぞく みんなで たべるごはん

いちばん だいすきな じかん

安代実践区(安代小学校)

一年 関 虹心

小学生になったわたし

いもうとと いっしょには

ほいくえんには いけないけれど

「いってらっしゃい」と おみおくりしてくれるから

いっしょじゃなくても がんばれるよ



大更実践区(大更小学校)

四年 佐々木 仁心

お父さん オリンピックに 真剣だ

「これみたらぜったい遊んでよ」

こっちも たのむの 真剣だ



大更実践区（大更小学校）

五年 松本 莉穂

ピアノの発表会 パパと連だん はずむ心



寄木実践区（寄木小学校）

四年 吉田 昂之介



あまのじゃくって よく言われる

平館実践区（平館小学校）

五年 下館 瑠毅

ひいおばあちゃんと けんかして

气まずい 空気に なったけど

「ごはんだよーっ」の一言で

100パーセント仲直り



気持ちを 言葉に表すのって むずかしいな

ぼくだって いろいろ思ったり考えたりしてるけど



柏台実践区（柏台小学校）

六年 高橋 柑奈

朝おきて 台所の母に ギューっとする

母の やさしい匂いで 目が覚める

朝ごはんなあに？ これが私のルーティン



西根中学校

三年 岩崎 紅霸

自分から 進んで動こう

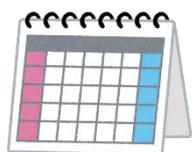
地域の ために

君はできるかな ぼくはするぞ

今年も はじまる また1年

けっこう短い この1年

大事にしよう また1年



西根中学校

三年 工藤 寛睦

兄に早く行けと 言ったきり

東京へ行き 戻ってこない

早く会いたい 兄さんよ



松尾中学校

三年 齊藤 優芽

幸せについて 考えました

西根第一中学校

二年 長南 美空

「おかえり」と

笑顔で迎えてくれる おばあちゃん

これからも たくさん 笑顔で迎えてね



「幸 から 一 をとると 辛。香辛料です」

こんなことを考える 日々が 幸せですね



平館高校 一年 大巻 昊也

初めてで ドキドキした バイト

一日目にわかったことは

かかとか すごく 痛いということ

冬は行くべきか なやむ



平館高校 一年 加藤 雄大

ぼくの相棒ジョニー

暑い日も風の日も 雨の日も一緒に登校する 相棒

年をとって キーカラキーカラ いうけれど

3年間の思い出を 一緒に作ろう 大切に乗るから



平館高校 一年 滝川 和絆

夏休み 休みが無くて ただの夏

休み
夏

平館高校 三年 遠藤 乎茉綺

早寝・早起きが得意な母



気づけば昼まで 熟睡している休日

意外な姿を見れてラッキー

田頭実践区 母

思春期の 頭の中を のぞいてみたい

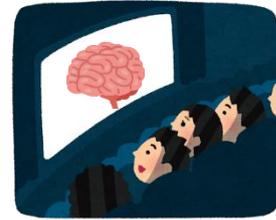
映画みたいになんか うまくいかない事が多いけど

どれもこれも 大切な感情たち

平館高校 三年 工藤 聖来



高校生活 すべてが最後 全部が大切な思い出



田頭実践区 工藤 舞

誕生日 照れながら、小さな手にギュッとにぎりしめ

渡してくれた 手作りの手紙にマッサージ券

そんなこどもの姿に 成長箱愛であふれていく



大更実践区 渡辺 圭悟

幼い娘の小さな手 そっと握り眠りにつかせる

その手のひらに

ちっちゃな ちっちゃな がんばりマメ

「今日ほうんてい真ん中までいけたよ、すごいでしょ。」

この小さな身体の中に 強くたくましい心が

確かに育っているのだと思うと

いとおしさが 溢れてくる



柏台実践区 小林 加奈子

「ママ！」と息子が言うと 「ママ～」と娘も言う

「ママ！」と一番下の娘がつられて言う

「な～に～」と答えると一斉に話し始める

私は聖徳太子ではない

「一人ずつお願いします。」といいながら笑顔になる

安代実践区 田鎖 英子

つらいとき 抱えこまないで はなしてね

ひとりじゃないよ わたしがいるよ





発 行

八幡平市教育振興運動推進協議会
事務局

八幡平市教育委員会教育総務課

発行日

令和7年（2025年）1月10日